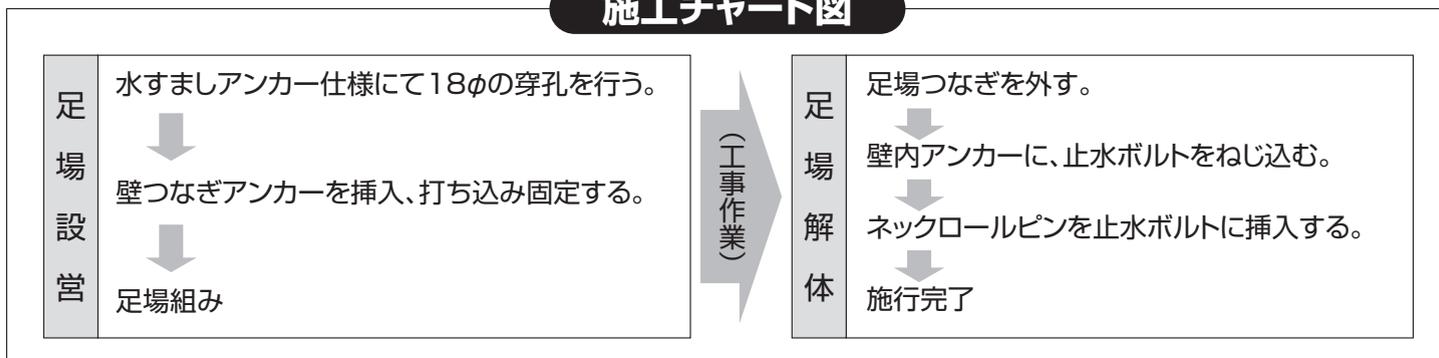


壁つなぎネックロールピンシステム 取扱説明書

施工チャート図

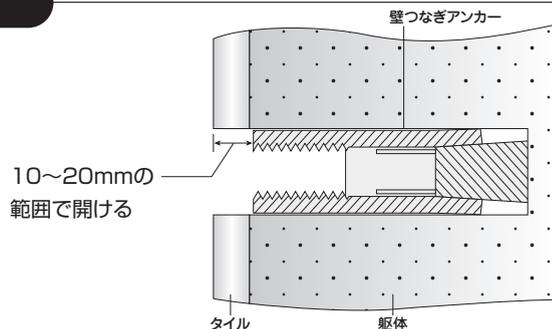


施工手順

〈足場設営時〉

(1) 壁つなぎアンカー施工

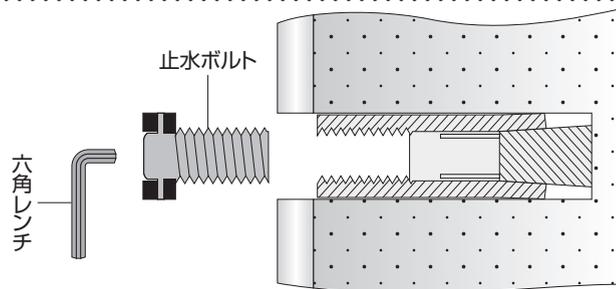
アンカー口部が壁面より必ず10~20mmの間になるように打込んでください。
※穿孔時の穴の深さに注意してください。



〈以下、足場解体時〉

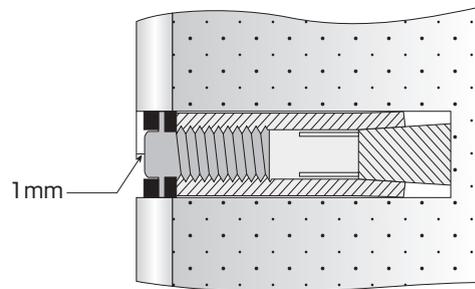
(2) 止水ボルトねじ込み

付属のL形六角レンチで止水ボルトを壁内のアンカーにねじ込みます。
※固くてねじ込めない時は無理にねじ込まず、一旦抜き戻して、裏面注意事項⑤にて施工してください。



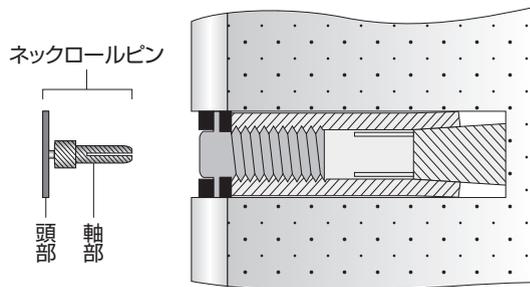
(3) 止水ボルトねじ込み後

ネックロールピンの頭の厚み分(約1mm)だけ壁面より開けておく。

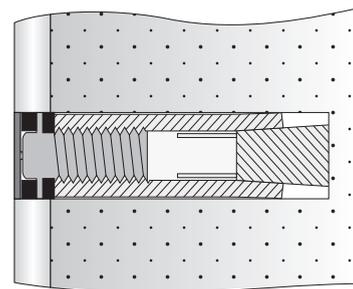


(4) ネックロールピンの挿入

ネックロールピンを止水ボルトにゆっくり押し込みます。
最後に頭が壁面より凹んでしまったり、斜めにならないよう注意をしながら収めます。



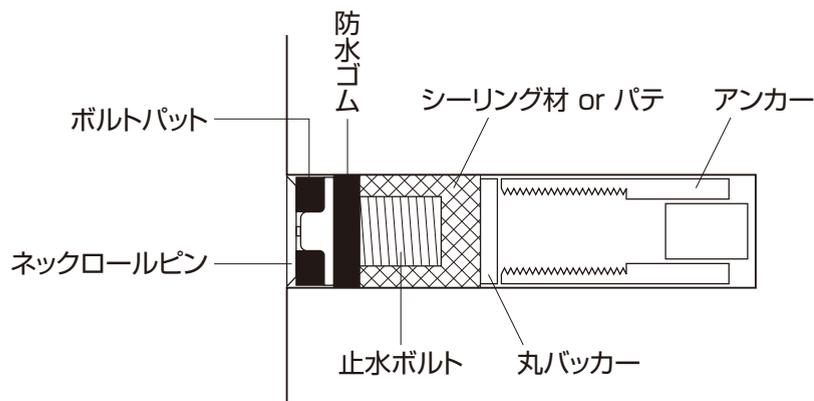
(5) 完了



壁つなぎネックロールピンシステム 取扱説明書

取扱注意事項

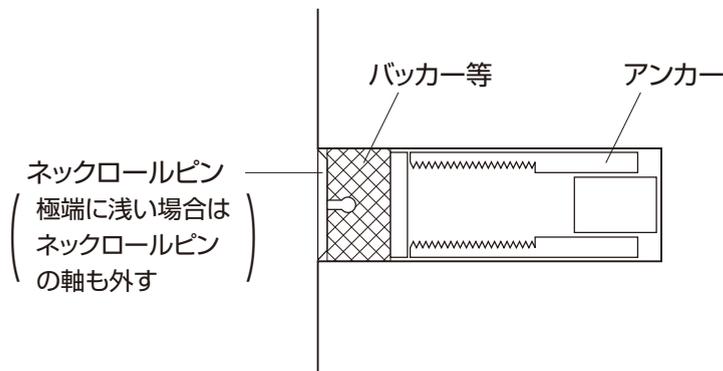
- ① 壁つなぎアンカー（以下、アンカー）が斜めにならないように、穿孔はできるだけ（壁に）垂直に開けてください。
- ② アンカーは口部が壁面より10mm以上20mm以内に収まるようにしてください。
- ③ 止水ボルトは最低2回しはねじ込むようにしてください。
- ④ アンカーの口部が深すぎて、止水ボルトがねじに掛からない場合は、止水ボルト挿入前に付属の丸バッカーをアンカーの口部に押し込み、シーリング材やパテ等を適量充填し、**ネックロールピンを止水ボルトに装填してから**、ネックロールピンが壁面から凹まないよう押し込んで挿入してください。



- ⑤ アンカーの口部が10mm未満であったり、20mm以上深くなってしまったような時は、ネックロールピンが壁面を飛び出してしまったり、樹脂軸が止水ボルトに届かない等の不具合が予想されます。

また④のようにシーリング材等が使えない場合は止水ボルトを使わず穴径よりやや太いバッカー等にネックロールピンを予め差し込んで、バッカーごと穴内に押し込んでください。

※軸とバッカー等を接着等していないと、経年によりネックロールピンが脱落する恐れがあります。



- ⑥ ④や⑤で代用するバッカー等は耐候性のあるものをご使用ください。
- ⑦ 一度止水ボルトから引き抜いたネックロールピンは再度使用しないでください。再度使用する場合は、軸部の樹脂を新しいものに交換してください。
- ⑧ 作業をやり直す場合や、10～15年後再リフォームで外す場合は、ネックロールピン頭の片側を押し、浮いた反対側のすき間にマイナスドライバー等をこじ入れて引き抜いてください。

※ **足場を解体しながらの作業は大変危険です。**

④、⑤やトラブル等で、1個の取り付けに時間の掛かる場合もございます。事前に解体業者と十分な打ち合わせの上作業してください。